

## BfRとの意見交換及び EFSAとの定期会合開催

2016年1月、海外リスク評価機関との連携強化を図る一環として、食品安全委員会の姫田事務局長らがドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) 及び欧州食品安全機関 (EFSA) を訪問しました。

2016年1月18日、ベルリンのドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) を食品安全委員会の姫田事務局長らが訪問し、意見交換を行いました。2015年10月には国際セミナーの講師としてBfRの農業安全部長を招へいするなど交流を行ってきました。今般、今後の連携の方向性等について協議を行うため、訪問しました。

訪問当日は、今後の両機関の連携強化について互いに確認し、連携の具体



▲BfRとの会合参加者

化のため、協力覚書を締結することで合意しました。また、両組織の運営や、新たなリスク評価手法等について活発な情報と意見の交換を行い、有意義な訪問となりました。

BfR 訪問後の1月20・21日には、定期会合のためパルマの欧州食品安全機関 (EFSA) を訪問しました。EFSAとは、2009年に締結した協力文書に基づき2011年11月に初めての定期会合を開いて以来、2014年1月、同年11月に続いて、第4回目の定期会合となりました。

EFSAからは、バーンハート・ウール長官、ジン・リン国際科学協力首席専門官をはじめ、各個別案件の担当者が出席し、新たなリスク評価方法、食品中のアクリルアミド、薬剤耐性菌、



▲EFSAとの会合参加者

透明性や公開性の向上、リスクコミュニケーションへの取組等、幅広い案件について熱心な意見交換及び情報交換を行いました。

現地を訪問し2日間にわたって定期会合を行うことにより、科学的な情報共有が行われたばかりでなく、両機関間の信頼関係がさらに強固なものとなりました。

## 「いわゆる『健康食品』に関する説明会 ～消費者の皆様を対象に～」開催報告

2016年1月28日、食品安全委員会は、先にとりまとめた「健康食品」に関するメッセージについての説明会を開催しました。

食品安全委員会では、健康食品全般についてのリスクや懸念される事項、留意すべき点等について見解をまとめ、広く情報発信するため、いわゆる「健康食品」について検討ワーキンググループを設け、2015年12月に報告書を取りまとめました。同時に、国民の皆様に向けて19項目からなるメッ

ッセージを作成し、公表しました。今回の説明会は、このメッセージについて説明し、皆様からのご意見やご質問を受けるために開催したものです。

説明会では、佐藤洋委員長の開会挨拶のあと、いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループの脇昌子座長が“メッセージで伝えたいこと”

を、事務局がメッセージの詳細を、説明しました。

説明会には約150名が参加され、健康食品の安全性や消費者への情報提供のあり方などについて、活発な意見交換・質疑応答が行われました。

最後に、脇座長が、「『健康食品』がどれくらい皆さんに必要なかを考える糧にしていきたい。ぜひこれを土台に自由にご判断していただいて、幸せに健康に生きていただきたいというのが私の願いです。」と述べて、説明会は終了しました。

説明会の資料等は下記URLに掲載しています。

### 「健康食品」に関するメッセージから

- ・「健康食品」は「食品」ですが、「食品」であっても安全とは限りません。
- ・「健康食品」を多量に摂ると健康を害するリスクが高まります。
- ・ビタミン・ミネラルをサプリメントで摂ると過剰摂取のリスクがあります。
- ・「健康食品」は医薬品ではありません。品質の管理は製造者任せです。
- ・誰かにとって良い「健康食品」があなただけにとって良いとは限りません。



いわゆる「健康食品」に関する説明会 ～消費者の皆様を対象に～

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20160128ik1>

# 報道関係者との意見交換会

様々なテーマで、報道関係者の方々と定期的に意見交換会を開催しています。

食品安全委員会では、新聞、テレビなどの報道関係者の方々と定期的に意見交換会を行っています。その時々に応じたトピックスをテーマとして、2015年度は5回開催しました(表)。このうち、2015年12月2日に行っ

た意見交換会では、熊谷進委員がアフラトキシンやオクラトキシンなど、主なかび毒の食品健康影響評価について解説し、農林水産省からも食品中のかび毒の汚染防止・低減対策について情報提供しました。

意見交換では、「市販のパンがかびにくいのは添加物のせいとの説があるが、どうなのか」、「もちにかびがはえたら捨てることがリスク低減策になるか」など、活発な質疑応答が行われました。

**表 2015年度 報道関係者との意見交換会開催実績**

開催日	テーマ
2015年 5月13日(水)	食品添加物について
2015年 7月31日(金)	夏場に多い食中毒について ~カンピロバクター食中毒~
2015年 10月 2日(金)	遺伝子組換え食品の健康影響評価について
2015年 12月 2日(水)	主なかび毒の食品健康影響評価について
2016年 3月 4日(金)	塩と健康 ~あなたの塩分摂取量は大丈夫?~



▲かび毒をテーマに熊谷進委員が解説

# 緊急時対応訓練を実施

腸管出血性大腸菌 O157 による食中毒発生を想定した緊急時対応訓練を 5 府省庁合同で実施しました。

2015年12月25日、腸管出血性大腸菌O157による食中毒発生を想定した、緊急時対応訓練を実施しました。

この訓練は、緊急時における他省庁を含めた組織的な対応の流れを確認することで、組織全体の対応能力と緊急時対応マニュアル等の実効性の向上を目的としたものです。

食品安全委員会としては緊急時対応の手順・役割の確認や、ホームページ掲載、メディア対応などの実務研修を年間を通して実施しており、今回の訓練ではその実務研修等によって習得した緊急時の初動対応等の技術・知識レ

ベルの確認をしました。

今回の訓練は消費者庁が中心となり、食品安全委員会、消費者庁、文部科学省、厚生労働省及び農林水産省の5府省庁合同で行いました。関係府省庁間の連絡体制の確認や合同記者会見の試行等とともに、当委員会では、危害についての科学的知見などの情報を収集・整理し、事態の進展に応じた情報提供のためのプレスリリース文書やFacebook記事の作成などを行いました。

当委員会では、この訓練を通じて明らかになった課題、特にリスク評価機関としての役割に即した情報発信力の

強化について検証し、緊急事態の対応体制の一層の強化に努めています。

なお、2015年度の緊急時対応訓練の実施結果と2016年度の緊急時対応訓練計画については、下記URLに掲載しています。



▲訓練の様子



第595回 食品安全委員会

- ・資料 6-4：平成 27 年度食品安全委員会緊急時対応訓練実施結果報告書
- ・資料 6-5：平成 28 年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画（案）

<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20160216fsc>